

新型インフルエンザワクチンの優先接種の対象 とする基礎疾患の基準

8. 疾患や治療に伴う免疫抑制状態

8-3. 内分泌疾患（肥満を含む）

（厚労省との協議の結果、現時点での対応策を決めました。非常に短時間に決定する必要があったので、不備の点はご容赦ください。）

優先対象基準

下記の①から⑥のいずれかに該当する者

- | |
|--|
| <p>① 副腎皮質機能低下症</p> <p>② クッシング症候群のうち、未治療および治療後もステロイド合成阻害剤等の薬物治療中にもかかわらず高コルチゾール血症が持続する者、あるいは副腎皮質機能低下症を併発している者。</p> <p>③ 下記の疾患に伴う二次性肥満症のうち糖尿病を合併している者</p> <ul style="list-style-type: none">・ プラダーウィリー症候群・ 先端巨大症・ クッシング症候群 <p>（先端巨大症、クッシング症候群で治療後の者は原則優先対象とならないが糖尿病が継続する場合は優先対象とする）</p> <p>④ 内分泌臓器の悪性疾患</p> <p>内分泌臓器の悪性疾患にて放射線療法、あるいは化学療法中でその結果ホルモン産生能が低下した症例は優先される。例えば下垂体機能不全、甲状腺機能低下症、副腎皮質機能低下症等を示す症例では特に優先対象となる。</p> <p>⑤ 甲状腺機能が正常化していない甲状腺機能低下症（橋本病等）</p> <p>⑥ BMI > 30 または腹部内臓脂肪面積が 100 cm²以上で慢性疾患（睡眠時無呼吸症候群、慢性心不全、慢性呼吸器疾患、慢性腎不全等）を合併する者</p> |
|--|

上記の優先患者の次に接種対象者となる基準を以下に示す。

- | |
|--|
| <p>○ BMI > 25 で慢性疾患（睡眠時無呼吸症候群、慢性心不全、慢性呼吸器疾患、慢性腎不全等）を合併する者</p> |
|--|

背景

- 副腎皮質機能低下症はインフルエンザ感染で重篤な副腎不全を起こすので、未治療、治療中に関わらず優先対象とする。
- クッシング症候群は未治療患者ならびに治療後でも薬物等で高コルチゾール血症が持続する症例は易感染性であり、優先対象とする。
- 内分泌性の二次性肥満症では糖尿病を併発し易く、易感染性を示す。このような症例では例え血糖が正常でも急激な悪化が予想されるため優先対象とする。
- 甲状腺機能が正常化していない甲状腺機能低下症は感染を契機に Myxedema Coma（粘液水腫昏睡）に陥る可能性があるため、優先対象とする。

(参考)

□ 副腎皮質機能低下症の分類

A 原発性副腎不全

(1) 先天性

先天性副腎皮質過形成： congenital adrenal hyperplasia (副腎性器症候群： adrenogenital syndrome)

先天性副腎皮質低形成： congenital adrenal hypoplasia
ACTH 不応症

(2) 後天性

Addison 病： Addison' s disease

(原因分類： 特発性 Addison 病、結核、梅毒、真菌症、癌転移、悪性リンパ腫、白血病、サルコイドーシス、アミロイドーシス、AIDS)

副腎摘出、外傷、放射線照射、出血、梗塞

薬物 (メチラボン、ミトタン、アミノグルテチミド等)

B 続発性副腎不全

(1) 下垂体性副腎不全

下垂体腫瘍 (非機能性腺腫、癌の転移性腫瘍等)、その術後、放射線照射後

下垂体卒中

下垂体出血、梗塞、血栓症 (Sheehan 症候群、DIC、ショック、海綿静脈洞血栓症等)

下垂体感染症 (髄膜炎、例えば結核、梅毒、真菌性等)

特発性 (リンパ球性) 下垂体炎 (ACTH 単独欠損症)

肉芽腫（サルコイドーシス、Hand-Schuller-Christian 病等）

その他（empty sella syndrome、ヘモクロマトーシス）

(2) 視床下部性副腎不全

視床下部腫瘍

肉芽腫

外傷、放射線照射、手術

脳炎

C その他

ステロイド治療後（withdrawal syndrome）

Cushing 症候群術後

原発性グルココルチコイド不応症

□ クッシング症候群の分類

(1) ACTH 依存性 Cushing 症候群：

- a. 下垂体性クッシング病
- b. 異所性 ACTH 産生症候群（異所性 CRH 症候群）

(2) ACTH 非依存性 Cushing 症候群：

- a. 副腎皮質腺腫
- b. 癌腫
- c. ACTH 非依存性大結節性過形成（ACTH-independent macronodular adrenal hyperplasia: AIMAH）
- d. 原発性副腎皮質小結節性異型性（primary pigmented nodular adrenocortical disease: PPNAD）
- e. McCune-Albright 症候群
- f. 食事依存性（Gastric inhibitory polypeptide 依存性）
- g. その他の病変

(3) 偽性 Cushing 症候群：

- a. アルコール性
- b. 鬱病

(4) 医源性 Cushing 症候群：

- a. グルココルチコイド内服
- b. ACTH 投与

（日本内分泌学会のご意見を参考に作成）